



発行：豊町東町会 編集：事務局広報部
お問合せ 豊町ふるさと会館 Tel & Fax 04-7169-1101

今号のご案内

- 文部科学大臣賞の受賞
- 町会が YouTube デビュー
- コロナ禍の町会活動
- 豊小校庭で給水訓練
- 水戸街道物語 第14回

豊小の山田航大さんに文科大臣賞

全国児童画コンクール

コロナ禍の暗い話題ばかりですが、とびきり明るいニュースをお届けします。昨年末に行われた「第39回全国児童画コンクール」(毎日新聞社主催、CGCグループ協賛)で豊小学校6年の山田航大さんが、最高位の文部科学大臣賞を受賞しました。



ジャンピング!!

コンクールは幼児の部、小学校低学年の部、小学校高学年の部の3部門で、全国から43万6064作品の応募があり、山田さんは小学校高学年の部で受賞。作品は「ジャンピング!!」で、滝つぼに飛び込む子供の姿が生き生きと描かれています。他の受賞は、幼児の部は愛知県から、小学校低学年の部は長野県から選ばれました。

町会、YouTube デビュー

Xマスコンサートをライブ配信



コロナ禍でイベントの中止が続き、日頃の練習の成果を発表できない子供たちに発表の場をと、豊町東町会では YouTube (ユーチューブ) により、Xマスイベントをライブ配信しました。町会では初の試みで、多くの保護者らが、自宅にしながら「イベントに参加する」ことができました。

Y E YのXマス会を生中継

イベントは Yutaka East Youth Club (ゆたかイースト・ユースクラブ。略称 Y E Y) の Xマス会。12月6日、会員の小学生が集まって、ふるさと会館で行われました。



ゲーゴルゲーム、ビンゴ大会など当日のイベントの全てと、あらかじめ録画しておいた小学生の「豊太鼓」、「豊小金管クラブ」演奏、中原中文化祭の合唱コンクールの模様も含め約2時間50分が配信されました。

配信には子供も参加

配信の設定や進行は、町会青少年部のメンバーや豊小OBの大学生などが担当しましたが、



準備作業には子供も協力。そのため? 一部音声途切れたり、画面が暗くなったりする不具合もありましたが、そのまま配信。保護者のみ

なさんも自宅で、この手づくり感いっぱいの映像を楽しんでいました。

これまでのように大勢の人が集まるイベントの開催が難しくなった今、オンラインを活用してのイベントはこれからも新しい“居場所づくり”のツールとして活用する機会が増えていくことでしょう。

Xマス会の動画は右の QR コードからご覧ください。



地域の青少年のサークル Y E Y

Yutaka East Youth Club (Y E Y) は従来の子供会を発展させ、小学生、中学生、高校生まで年代幅を広げた地域の青少年のサークルです。昨年発足し、これまで「AED講習会」(8月)、「ぼうさい探検隊」(9月)、「オンラインゲーム大会人狼」(11月)、「Xマス会」(12月)などのイベントを実施しています。

入会の申し込み、お問合せは下記からお願いします。

<https://yey.fk-tomisato.net/>
yutaka.east.youthclub@gmail.com



会員登録

柏市が「緊急事態行動」を呼びかけ

新型コロナ感染者急増中

国の緊急事態宣言を受けて、柏市は市民に「緊急事態行動」を呼びかけています。不要不急の外出をしない、飲食店の営業時間の短縮、テレワークなど働き方の見直し、イベント開催の自粛などです。

柏市のコロナ感染者は昨年11月から爆発的に増え続け、11月345人、12月285人、1月は11月を上回ることは確実です。自分や身の回りの人、社会を守り、医療崩壊を防ぐためにも、感染の防止に努めましょう。

柏市のホームページによると、柏市の感染者は検査総数3万5299人、陽性者数1326人、死亡16人(1月14日現在)。

緊急事態下での町会の活動

感染防止を前提に



外出を自粛し、できるだけ人に会わないのが感染防止の大原則です。でも地域の活動をすべてストップするわけにはいきま

せん。この3月には東日本大震災から10年。災害への備えは欠かせません。柏市では独り暮らしの60代の男性が、コロナに感染して孤独死の状態で見つかるという不幸な事例もありました。地域が協力して防いでいくことも求められています。

緊急事態宣言を受け、富里近隣センター、豊町ふるさと会館の利用は定員の半数とし、午後6時以降の利用は中止します。利用する場合は感染防止策を徹底してください。また回覧など各戸への配布資料も中止します。町会からの情報の伝達はメールマガジン(右の記事参照)を活用していきます。

豊小、中原中コミュニティ・スクールへ

地域の声を反映させて

中原中学校、豊小学校には学校評議員会があって、関係町会の会長など地域の人が意見を述べる場となっています。この評議員の数を増やし、地域の声を生かした学校運営をしようというのが「コミュニティ・スクール」。全国的に5年後ぐらいを目標に、コミュニティ・スクールへの移行を目指しているといわれます。中原中

学校は来年度中に移行する構想を持っており、新しい学校のあり方が注目されます。

メールマガジンに登録を

災害時の緊急メールなどに活用

町会では会員のみなさんへの連絡網となるメールマガジンを開設しています。町会のさまざまな行事の連絡や、結果のお知らせなどが登録されたみなさんへ一斉に届くものです。とくに災害時には緊急の情報や連絡がいち早く届けられ、対策に役立ちます。

町会のホームページから、もしくは右記のQRコードから登録してください。

お問い合わせは町会事務局へ。電話04-7169-1101(火・木・土曜日 9:30~12:00)



磯部前副会長を表彰

防犯活動に尽力



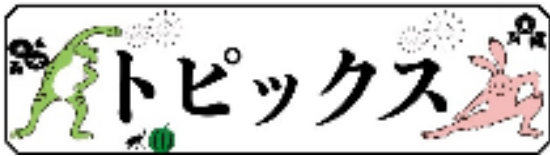
昨年度まで町会副会長をつとめた磯部検四郎さんが、地域の防犯の功労者として柏市防犯協会から表彰されました。10月10日予定の表彰型コロナの影響で中止となり、11月の町会運営委員会の席で佐野町会長から表彰状が渡されました。

古い消防小屋を撤去

跡地の有効活用を検討

ふるさと会館前にあった古い消防小屋が取りこわれ、整地も済みました。新しく設けられた防災倉庫も含め、3つの倉庫が反対側に移され、会館前のスペースが少し広がりました。フリーマーケットなど、ちょっとしたイベントに使えそうです。





水質事故、災害に備えて

豊小校庭で給水訓練

河川での水質事故や地震などによる断水に備えた給水訓練が、11月17日、豊小学校校庭で行われました。訓練には豊町東町会、豊町西町会、南柏町会の会長ら、富里近隣センター所長、豊小の赤澤校長ら約30人が参加。柏市水道部給水課が指導しました。

訓練に先立ち、校庭のどこに給水所を設けるか、人や車の導線をどうレイアウトするかなどを町会長ら地域の人が検討し、給水用タンクのある倉庫に近く、生活用水用井戸の隣が最適ではないかと提案して実施しました。

①給水タンクを搬出する

体育館裏にある給水用倉庫からタンク(500L)2個とタンクをのせる架台を給水場所に運ぶ。



②架台を組み立てる

部品のベルトをはずし、中身を確認して手順通りに組み立てる。手早く行うには日ごろの訓練が必要。



③架台にタンクをのせる

架台が完成したらタンクをのせ、給水車からホースで給水(水道部職員が行う)。



④車や人の誘導

その間、支援者は車や人の誘導などを行う。



⑤給水開始

給水を受ける人は専用の袋をもらい、自分で水栓のコックをひねって水を入れる。1人3L。



タンクを収納する倉庫のカギは市水道部しか持っていないので、いざという時支障はないか、架台の組み立てに意外に手間取るなど問題点もいくつかありました。給水場所の確定も含め地元の要望は市水道部に伝えてあり、結果が出れば「東風」などでお知らせします。

文化祭をYouTubeで配信

中原中のオンライン学習

中原中学校の文化祭が10月30日に行われました。コロナ禍で学校行事もほとんど中止の状態でしたが、学校では知恵を絞り、YouTube(ユーチューブ)で保護者の家に配信するという形で実施に踏み切りました。



メインの全学年、全学級による合唱コンクールは、フェイスシールドを装着した完全装備で各学年、学級の歌声が各教室や保護者の自宅に配信されました。

カマドを使い、ごはんを炊く

低見台公園で炊飯訓練

災害に備えた炊飯訓練が11月14日、低見台公園で行われました。公園内に設けられている町会の防災倉庫をあけ、カマドや釜を取り出し、廃材など



のマキでごはんを炊く訓練。「最初は弱火で、噴き出したら強火に…」と理屈ではわかっても実際は難しく、2つのお釜とも焦げてしまいました。

またビニール袋に米と水を入れ、湯せんでごはんにする訓練も同時に実施。マスクをはずせないで今回は試食は中止にしました。

豊小、柏三小児童の絵を展示

縮小して実施、協議会の文化祭

ふるさと協議会の文化祭は、11月18日に1日だけ実施。一般の作品展示は中止し、柏三小、豊小児童の絵画のみが展示されました。



検温、手指の消毒、間隔をあけるなどの感染防止策の中、約400人の保護者などが静かに鑑賞。展示場の会議室では、柏三小合唱部、豊小金管クラブの演奏も壁面のスクリーンに上映されました。



●「向い風」の舞台となった橋



藤代本陣跡からふたたび旧道を歩き、愛宕神社からその先、小貝川に近い八坂神社・熊野神社に参拝。小貝川にはか

つて渡船場があって、舟で対岸に渡ったといわれます。この川にかかる文巻橋（ふみまきばし）は、取手市と竜ヶ崎市を結ぶ国道6号の橋。住井すゑの小説『向い風』で、主人公のゆみがかつての夫と別れるラストシーンの舞台となったのがこの橋です。

●二つの水戸街道の合流点

江戸時代初期の水戸街道は、我孫子宿から利根川沿いに下り、布佐で川を渡って布川から若柴へ向かうコースでした。のちに取手や藤代の宿が整ってから、我孫子～取手～藤代～若柴のコースに変わったとされます。この二つの道が合流するところが、竜ヶ崎市立馴柴小学校東側の三差路で、道標に「布川三里、江戸七里、水戸十六里」とあって、布川を經由していたことがわかります。



●豪壮な構えの住宅に驚く



馴柴小学校を後にし、水田にはさまれた田舎道をしばらく歩くと、若柴宿に。右手にある古い八坂神社を過ぎると道は左に曲がり、金竜寺ま

で約500メートルの真っすぐな道が若柴宿の町並み。道路の両側には、黒板塀で囲われ、長屋門などどっしりとした門構えの重厚な家が並びます。このあたり火災があって明治以降の再建だそうですが、かつての宿場の面影を残して建てたものでしょうか。

●新田氏一族の墓、金竜寺

旧道はほぼ直角に右に曲がりますが、突き当りが曹洞宗金竜寺。もとは新田義貞の子貞氏が上州太田に建てた寺が、天正18年(1590)義貞の子孫



由良国繁が牛久城主になった際、寺をここに移し、新たに堂宇を建てたとされ、新田一族の墓があります。広い敷地の自然を生かした壮大な寺院です。寺宝の「絹本着色十六羅漢像」十六幅は国の重要文化財。

寺の少し先、道の左側に星宮神社（ほしのみやじんじゃ）。祭神は天御中主大神（あめのみな



かのぬしのおおみかみ)で、天のまん中に位置する神だそうで、だから「星宮」というロマンチックな神社名になったとか。

●日本橋から15番目の一里塚

一面畑が広がる中、北へ進むと「成井一里塚跡」の碑が。日本橋から15番目、千住からは13番目の一里塚です。この旧道を直進すれば、常磐線を越えて牛久市の中心街、牛久宿に至りますが、牛久沼へ寄り道することに。



●“カッパの芋銭”「雲魚亭」



一里塚跡の少し先、田んぼの中の小道を左に曲がって歩くと、常磐線の踏切、国道6号があり、さらに進んで牛久

沼へ。沼のほとりに、この地を愛し、カッパの絵を描き続けた日本画家、小川芋銭（おがわ・うせん）ゆかりの「雲魚亭」があります。芋銭が晩年に建てた住まいとアトリエを兼ねた建物。

「小川芋銭記念館」として一般に公開されています。近くに建つ「カッパの碑」も見て、牛久宿へ向かいました。（つづく）



※街道探検の詳細は、町会のホームページをご覧ください。